

# 福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

## 新山下二丁目保育所

横浜市中区新山下 2 - 3 - 1

運営主体：社会福祉法人 神奈川県匡済会

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～4 ページ
評価領域ごとの特記事項	5～6 ページ
分類別評価結果	7～17 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	18～24 ページ
利用者本人調査分析	25～26 ページ
事業者コメント	27 ページ

2010年11月30日公表

実施機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま



## 実施概要

事業所名	新山下二丁目保育所（保育所）		
事業所への報告日	2010年12月1日	評価に要した期間	6ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

## 評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間 2010年6月1日～2010年8月25日</p>	<p>第三者評価と受審の趣旨について園長が直接説明した。 第三者評価受審プロジェクトチームを立ち上げ、進め方の計画を立てた。 各個人で記入後、それをもとに各クラスごとに話し合った。 各クラスで出された問題点や意見をまとめて、全体で話し合った。 全体で話し合ったものをもとに評価票に記入し、全員が目を通し合意を得てまとめた。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間 2010年7月12日～2010年7月31日</p>	<p>全園児の保護者（90世帯）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配付した。 各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日：第1日 2010年9月10日 第2日 2010年9月16日</p>	<p>[第1日] 午前：各クラスで保育観察。 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：書類調査。栄養士1名、非常勤職員1名に面接調査。 その後園長・副主任に面接調査。</p> <p>[第2日] 午前：朝は登園の様子を観察。その後、各クラスで保育観察。 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：各クラス担任保育士6名に個別に面接調査。 その後、園長・副主任2名に面接調査。 最後に意見交換を行い、終了。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日：第1日 2010年9月10日 第2日 2010年9月16日</p>	<p>観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施し、戸外・園外での活動も観察した。 幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。</p>

## 総合評価（評価結果についての講評）

### 【施設の概要】

新山下二丁目保育所は、みなとみらい線「元町中華街」駅から徒歩8分、大通りから1本入った住宅街の中にあります。園に隣接して新山下公園、近くには港の見える丘公園や山下公園などがあり、都会の中にありながら緑が多く、自然に親しむことができます。

当園は平成17年（2005年）4月に開園しました。運営主体は社会福祉法人神奈川県匡済会です。大正7年に創立された法人は、当園のほかに中区内で保育園を1園運営するほか、横浜市内でホームレス自立支援事業、老人福祉事業、生活保護事業などを展開しています。

定員は産休明け～5歳児90名、保育時間は平日7時～20時、土曜日7時～16時半です。

園舎は2階建てで、床や壁、扉、家具などの内装は全て木製です。吹き抜けのホールや幅の広い階段など木のぬくもりが感じられ、日当たりもよく明るく広々としています。法人の福祉事業の経験から得たノウハウや現場の保育士の意見を設計時に取り入れており、子どもが楽しめる仕掛けや職員が使いやすい工夫が細かな点にまで見受けられます。遊具が設置された広い園庭のほかに乳児専用の園庭があり、その隅では5歳児が野菜を育てています。2階には広いテラスがあり夏にはプールができます。

基本理念は「あらゆる人の尊厳を守り、常に人が人として文化的生活が営めるよう、その自立に向けた支援に努める」、保育方針は「しなやかな心と身体を培い、自立した子どもを育む」です。具体化した保育目標は「心身ともに健康で思いきり遊べる子ども 一人ひとりがしっかり自己主張をしながら集団の中で工夫し、考え行動できる子ども 友だちが大好きで、思いやりのある心を持ち、感性豊かな子ども」です。

### 高く評価できる点

#### 1、子どもたちは思いっきり身体を動かし、自分を表現して遊んでいます

園では子どもたちの健康な身体作りのために、はだし保育、散歩、どろんこ遊び、全身を使ったリズム運動や手遊びなどを取り入れています。園庭やホールは子どもが思いっきり身体を動かすために十分なスペースを確保できるよう遊具の配置が工夫されています。このような環境のなか、子どもたちはそれぞれの思いを大切に、のびのび身体を動かし遊びこんでいます。

乳児は保育士にたくさん抱っこしてもらい、声をかけてもらっています。みな保育士が大好きで、登園してくるとすぐに抱っこをせがみます。保育士のひざの上で遊んでいる子どももいます。このように乳児のときからたくさんスキンシップをとっているため、幼児になると、元気に身体を動かすだけでなくリズムやゲームなど友だちとの関わりを楽しみながら遊ぶことができます。

また、保育士は、活動の中で折に触れて自分のやりたい事や思いを話す機会をもうけ、自分の思いを言葉で表現するよう子どもたちに働きかけています。このような中、子どもたちはよくおしゃべりし、自分のことを言葉で表現することができます。乳児でも保育士に自分が何がやりたいかを言葉で伝えることができます。

保育目標の「しなやかな心と身体を培い、自立した子どもを育む」が実践されています。

#### 2、保育士は連携よく楽しみながら保育しています

保育士は園の目指す保育がどのようなものであるか、職員会議やミーティングで常に話し合っています。職務上は常勤、非常勤の差がなく、クラスの担当保育士が交替でリーダーを務め、自分の思う週案を

作成することにより、クラス担当の保育士全員が責任を持ってクラスの運営にあたることができます。また、乳児フリー、幼児フリー、全体フリーとベテランのフリー保育士が複数いるため、休暇のときだけでなくクラスの様子や活動に応じて、補助に入りアドバイスすることができます。

保育士は少しでも席をはずすときはお互いに声を掛け合い、連携して保育に当たっています。ホールが吹き抜けであったり隣の保育室との境が壁でなく背の低い棚となっているため、音楽をかけるときなどは他のクラスと活動を調整する必要があります。そのため、全てのクラスの職員がお互いの活動の内容を周知しています。常に他のクラスの保育士と声を掛け合い、話をしているため、クラスだけで対処できないことがあった場合など、他のクラスの保育士が補助に入ることができる体制ができています。観察時にも、子どものトイレのときなどに他のクラスの保育士と連携している姿を見ることができました。

このように、保育士は連携し、楽しく保育に当たっています。

### 3、地域の子育て支援に力を入れています

園では園庭開放、一時保育、育児相談などを行い、地域の子育て支援に力を入れています。

週1回の園庭開放には毎回20名前後の子どもが保護者とともに参加しており、地域の親子にとって砂遊びやどろんこ遊びを思いっきり楽しめる良い機会となっています。園庭開放には前園長がボランティアとして参加し、親子の遊びをアドバイスするとともに、育児の悩みなどの相談にもなっています。

一時保育は就労、子育て支援、緊急、リフレッシュなどの事由でほぼ毎日受け入れています。一時保育を利用する子どもはそれぞれの当該年齢のクラスに入り、クラスの子どもたちと一緒に過ごしています。区役所からの依頼だけでなく、園庭開放で直接依頼を受けることも多く、地域の子育て家庭のニーズに応えています。このような努力の結果、平成21年度の年間延べ利用者数は650人にも及びました。

育児講座としては、今までにベビーマッサージやマジックショーを行ったことがあります。今後は、職員が講師となり手遊びや伝承遊びなどの育児講座を開催する計画があります。

このように、園は地域の施設として、地域の子育て家庭にとって大切な場となっています。計画されている育児講座の開催など今後のさらなる発展が期待されます。

### 特に力を入れて取り組んでいる点

#### 1、園をあげて福祉サービスの向上に努めています

園では意見箱を設置するなど苦情受付体制を整えるだけでなく、懇談会でも意見や要望を言うことが保育の質の向上につながる好ましいことであることを保護者に説明し、苦情や要望を言いやすい環境作りに努めています。また、保育士もカウンセリングなどの研修を受け、日々の送り迎えにおいて、保護者の声を聞くように努めています。

毎月の職員会議では、このようにして拾い上げた苦情・要望だけでなくヒヤリハット事例、気になった事例、良かった事例などを具体的に挙げて全職員で話し合い、お互いの保育を見直して必要なことは改善し、サービスの向上につなげています。話し合われた内容は会議録に記録し職員間で共有し、日々の保育に活かしています。

また、職員一人ひとりが大切な園の財産であり、人材の定着が保育の質の向上につながるという考え方から、園長・副主任が保育士の意見や要望の把握にも努め、設備的なことや職員ローテーションなどの改善を行っています。

これらの努力の結果、「家族アンケート」では総合評価で90パーセント以上の満足となっております。ただし、一部に「話しかけづらい」「忙しそうで気が引ける」などの声もありますので、声をあげない保護者の声にも耳を傾けるための工夫をし、さらなるサービスの向上につなげることが期待されます。

## 改善や工夫が望まれる点

### 1、安全体制を再度見直すことが望めます

園では随所に防犯カメラを設置するとともに、夜間は民間のセキュリティサービスで対応するなどの安全対策を行っています。また、神奈川県警察生活安全課より講師を招き、不審者対応の訓練を行うとともに、マニュアルを作成し職員に周知しています。

しかし、「家族アンケート」において約4割の保護者が園の安全体制についての不安の声を寄せています。

保護者の声に応えるためにも、園の安全体制について再度見直しを行うとともに、園の安全体制や安全対策について保護者に具体的に説明するなどの工夫が望めます。

## 評価領域ごとの特記事項

このページは、かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って記載しています。

### 1、人権の尊重

- ・基本理念は「あらゆる人の尊厳を守り、常に人が人として文化的生活が営めるよう、その自立に向けた支援に努める」、基本方針「しなやかな心と身体を培い、自立した子どもを育む」で利用者本人を尊重したものとなっています。
- ・個人情報基本方針を定め、職員会議で周知するとともに、職員の採用時には誓約書を提出してもらっています。また、ボランティアや実習生には、個人情報についての説明を行っています。
- ・支援が必要な家庭には、声かけを多くする、できるだけ話を聞く、コミュニケーションを密にするなどの配慮をしています。また、児童相談所、区の担当者、園、学校と連携会議をもうけるなど迅速に対応できる体制が整っています。
- ・家庭での呼び名を保護者から聞き、園でも家庭と同じように呼ぶよう配慮しています。職員は、子どもと話をするとき、子どもの目線になって話をしたり、朝の受け入れのときに泣いてしまう子どもに対し、落ち着くまで保育士が側にいたりなどし、信頼関係を築いています。

### 2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ・食事の後すぐに寝るのではなく、子どもが落ち着く時間をもうけ、その間にきちんと清掃してからコット（簡易ベット）を並べています。
- ・ホール、保育室にはおもちゃや絵本などのコーナーがもうけてあり、子どもが自由に出し入れして遊べるようになっています。
- ・園庭とベランダに温水シャワーの設備や子ども用トイレが設置されており、どろんこ遊びなど子どもが外でのびのび遊べる環境が整っています。
- ・前日に廃材や空き箱を使い遊んでいた子どもから挙がった、翌日も同じように遊びたいとの声を、集団活動として取り入れるなど子どもの発想を大切にしています。
- ・園の周辺には自然に触れられる公園や遊歩道が多く、少し急な坂道のあるコースでも日常的に散歩に行くなど自然に触れる機会を積極的にもうけています。
- ・週1回程度リズム運動を取り入れ、年齢に合わせた難易度で内容を組み立てています。
- ・はだし保育を行っており、天気の良いときは、どろんこ遊びをしています。
- ・年長児は、なわとび・あやとり・竹馬などのチャレンジ表を作成し、運動能力を高められるよう工夫しています。
- ・年長児はトマトや枝豆、さつま芋等の栽培を行っており、少しの量でも給食に取り入れるなど、収穫の楽しさを体験しています。
- ・園の食事は、外部に委託し、園内の調理室で調理しています。月1回の給食会議で園と業者の栄養士が話し合い、季節の食材を取り入れた献立を決めています。
- ・近隣の保育園の子どもを、11月には焼き芋パーティーに招待するなど、日常的に行事に招待したり招待されたり交流を図っています。また、同法人の老人施設や近くの老人施設、交番に園児が作成した作品を届けるなどの交流も図っています。

### 3、サービスマネジメントシステムの確立

- ・保育課程に基づき、年齢ごとに年間指導計画、月間指導計画を作成しています。毎月の終わりには月間指導計画の評価を行い、子どもの状況に応じて見直しを行っています。見直された計画は職員会議において全職員で確認し、共有しています。
- ・0、1、2歳児については個別指導計画を作成しています。幼児についても、特別な課題がある場合には、個別指導計画を作成しています。個別指導計画は毎月のケース会議で見直すだけでなく、状況に応じて話し合いを行い、柔軟に変更・見直しを行っています。
- ・ひきつけ台帳やアレルギーチェック表を各クラスにおき全職員が対応できるようにするなど、必要な情報を共有し、いつでも確認できる体制ができています。
- ・事故が発生したときは、職員会議、リーダー会議で話し合わせ、設備などの改善が必要な場合は、すみやかに対処し、再発防止に努めています。

- ・事務所の隣に相談室をもうけ、相談内容により、保護者の同意を得たうえで、園長、副主任、経験豊富な保育士などが担任とともに同席し対応しています。継続的なフォローが必要な場合は柔軟に対応し、会議などで話し合う体制が整っています。
- ・毎月のお誕生会には、父母、祖父母を招待し、希望者には給食を提供しています。お誕生月に参加できなかった家族は、他の月に招待するなど柔軟に対応し、100%の参加率となっています。

#### 4、地域との交流・連携

- ・毎週木曜日に園庭開放を行っており、毎回 20 名前後の子どもが保護者とともに参加しています。園庭開放には、前園長がボランティアとして参加し、保護者のニーズを聞くとともに、育児相談を受け、必要なときには保育サービスを提供しています。
- ・一時保育をほぼ毎日受け入れてあります。一時保育を利用する子どもはそれぞれの当該年齢のクラスに入り、クラスの子どもたちと一緒に過しています。
- ・地域住民ふれあいまつりや地域の運動会に参加しています。また、園の夏祭りに地域住民を招待し、乳児対象のベビーマッサージや職員によるマジックショーを行ったり、園に隣接している公園の清掃を行うなど地域との交流を密にしています。
- ・園の様子は、月 1 回更新するインターネットのブログで見ることができます。スイカ割りの様子や親子ふれあいまつり、野菜の栽培、年長児のお泊り保育の様子を写真付きで公開し、園の情報として提供しています。

#### 5、運営上の透明性の確保と継続性

- ・法人として「神奈川県匡済会コンプライアンスルール」を定め、職員が守るべき法・規範・倫理等を明文化しています。また、全職員が携帯するコンプライアンスカードにも掲載しています。
- ・経営、運営状況が掲載された法人の事業年報を全職員に配布しています。また、法人のホームページに決算報告を公表しています。
- ・ゴミの分別、廃材の再利用などゴミ減量化、リサイクルのための取り組みを行っています。ただし、環境への考え方・取り組みを明文化はしていません。
- ・法人の研修会において、基本理念について周知しています。また、毎月の職員会議において、園長は基本理念について話し、確認しています。
- ・定員外の入所などの重要な意思決定に当たっては、職員会議やリーダー会議で職員に説明し話し合っています。また、保護者に対しては入園説明会や懇談会で説明しています。
- ・法人は次代の組織運営に備え、中長期的な課題を抽出して、それに対する新たな仕組みを常に検討し、中長期的な計画を作成しています。

#### 6、職員の資質向上の促進

- ・キャリア開発申告シートを用い、個々の適正や育成方針などの目標を設定して、将来の見通しを持った人材育成に取り組んでいます。ただし、キャリア開発申告シートに基づく人材育成を今年度より始めたため、まだ達成度の評価には至っていません。
- ・非常勤を含む全職員の希望や経験に基づき個人別育成計画を作成し、園外の研修会、大会への参加が積極的に行われています。研修に参加した保育士は研修報告を提出し、全職員で回覧しています。また、リズム、救命救急法などの実践的な研修については、参加した職員が講師になって内部研修を行っています。
- ・常勤、非常勤の組み合わせについては、個性、力量などを考慮して行っています。職務上は常勤、非常勤の差はなく、非常勤職員も職員会議や研修に出席しています。職員間のコミュニケーションはよく、連携して業務に当たっています。
- ・毎月の職員会議においてヒヤリハット事例や良い事例を挙げて、お互いの保育について話し合い、サービスの向上を目指しています。
- ・法人の人材育成計画に経験・能力や習熟度に応じた役割が期待水準として明文化され、全職員に配布されています。園長は評価のあとにフィードバック面談を行い、職員に到達度を伝えています。
- ・園長は面接や日常的な会話の中で、職員の満足度や要望を聞いています。吸い上げられた職員の意見は、検討し改善につなげています。
- ・実習生の受け入れの担当は、主に園長が行い、実習生用のしおりを活用し、オリエンテーションを行っています。積極的に実習生を受け入れ、希望を聞き、実りある実習となるよう配慮しています。

## 分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。



「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

### 評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人の基本理念は「あらゆる人の尊厳を守り、常に人が人として文化的生活が営めるよう、その自立に向けた支援に努める」です。園の基本方針として「しなやかな心と体を培い、自立した子どもを育む」・保育目標として心身ともに健康で思いっきり遊べる子ども一人ひとりがしっかり自己主張しながら、集団の中で工夫し、考え行動できる子ども友だちが大好きで、思いやりのある心を持ち、感性豊かな子どもを掲げ、利用者本人を尊重したものとなっています。</li> <li>保育課程は、保育士で組織したプロジェクトチームが中心となって全職員で話し合いを重ね、保育方針に基づき、地域性や周囲の環境、保護者の実状などを考慮して作成しました。</li> <li>保育課程に基づき、年齢ごとに年間指導計画、月間指導計画を作成しています。週案、日案はクラスの保育士が交替で作成しています。</li> <li>保育士は子どもに寄り添い、子どもの意思・要望を態度・表情や言葉から聞いています。子どもから声があがったときは計画を変更して活動に取り入れるなど、計画には柔軟性を持たせています。</li> </ul>
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>入園前に新担任と栄養士が保護者と面談しています。面談の際には、アレルギーなどの食事についての注意事項、心配なこと、気をつけてほしいことなどを面談シートに記入してもらい、必要な情報を把握しています。必要な情報は会議などで共有し、その後の保育に活かしています。</li> <li>0、1歳児は個別に主担当保育士を決めずにクラスを担当する全員で関わっています。子どもが自ら関わりたい気に入りの保育士を求めた場合には、その保育士が個別にしっかり求めに応じています。</li> <li>0、1、2歳児は複写式の連絡帳を用い、毎日保護者とていねいな連絡を行っています。3、4、5歳児も連絡ノートを用い、必要に応じて保護者と連絡を取り合っています。</li> <li>毎月の終わりには月間指導計画の評価を行い、子どもの状況に応じ</li> </ul>

	<p>て見直しを行っています。年間計画については四半期ごとに評価し、見直しています。見直された計画は職員会議において全職員で確認し、共有しています。</p>
<p>- 3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エアコン、床暖房が設置されています。保育室、ホールには温・湿度計が設置され、温・湿度の管理が適切に行われています。保育室やホールの窓が大きく、陽光を十分に取り入れられるようになっています。</li> <li>・ ホールは吹き抜けとなっており、隣り合う保育室は完全な仕切りがないため、音楽や他のクラスの活動の音が聞こえる構造になっていますが、保育士たちは連携して各クラスの活動を調整し、配慮しているため、周りの音が活動の邪魔になることはありません。</li> <li>・ 家具や床、壁などは木製を用い、ぬくもりが感じられるよう工夫されています。</li> <li>・ 園庭とベランダに温水シャワーの設備や子ども用トイレが設置されており、どろんこ遊びなど子どもが外でのびのび遊べる環境が整っています。</li> <li>・ 食事の後すぐに寝るのではなく、子どもが落ち着く時間をもうけ、その間にきちんと清掃してからコット(簡易ベット)を並べています。</li> </ul>
<p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 0、1、2歳児については個別指導計画を作成しています。</li> <li>・ 幼児についても、特別な課題がある場合には、個別指導計画を作成しています。</li> <li>・ 個別指導計画は毎月のケース会議で見直すだけでなく、状況に応じて話し合いを行い、柔軟に変更・見直しを行っています。</li> <li>・ 子どもや家庭の個別の状況・要望は個人票に、入園後の子どもの成長発達記録は保育経過記録、健康台帳に記録しています。子どもの記録は事務所に保管し、必要なときには全職員で共有しています。</li> <li>・ 重要な申し送り事項は記録し、進級時にはクラス引き継ぎ打ち合わせ会議を開催し、次年度担任に伝達しています。</li> </ul>
<p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れています。</li> <li>・ ひきつけ台帳やアレルギーチェック表を各クラスにおき、全職員が対応できるようにするなど、共有する情報はいつでも確認できるようにしています。</li> <li>・ 障がい者用のトイレや段差のない造りなどバリアフリー仕様になっています。2階への移動用のエレベーターはありませんが、自分で上がることができない子どもが入所した場合には、背負うなど個別に対応する姿勢があります。</li> <li>・ 園長が中区の発達障がい児支援ネットワークに参加し、情報・知識を得ています。</li> <li>・ 食物アレルギーにおいては、毎月メニューを保護者に見せて確認し、連携を密にして代替食を提供しています。提供に際しては、食材が違う場合でも、見た目が変わらないよう配慮しています。</li> <li>・ 文化や生活習慣、考え方の違いを認め尊重しています。今まで特別な支援を必要とする子どもはいませんでした。今後入所した場合</li> </ul>

	<p>には通訳ボランティアを依頼するなど対応する姿勢はあります。</p>
<p>- 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苦情解決責任者は園長、苦情受付担当者は副主任で、玄関に掲示するとともに、「新山下二丁目保育所のしおり」に掲載し、保護者に周知しています。</li> <li>・ 苦情対応マニュアルを備え、第三者委員を交えて解決する仕組みがあります。</li> <li>・ 入園時に、保護者に意見や苦情を言うように伝え、いつでも聞く姿勢を示しています。意見箱を玄関に設置するとともに、懇談会や送り迎えの際の日常会話の中で保護者の要望や意見を聞いています。</li> <li>・ 「魚が冷めていた」という苦情を受け、温かい食事は温かいうちに提供するように改善するなど、苦情・要望はリーダー会議や職員会議で検討・改善するとともに、全職員に周知しています。</li> </ul>

## 評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="161 302 472 338">- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1階、2階のホール、保育室にはおもちゃや絵本などのコーナーがもうけてあり、子どもが自由に出し入れして遊べるようになっています。</li> <li>・ 1階のコーナーでは、子どもが保育士と並んで座って絵本を読めるよう配慮し、2階のホールでは、紙芝居・絵本・パズルなどを幼児が見やすい高さに整理し置いています。</li> <li>・ 前日の自由遊びの中で、廃材や空き箱を使い遊んでいた子どもから、翌日も同じように遊びたいとの声があり、その日の計画を変更して、それを取り入れ集団活動とするなど子どもの発想を大切にしています。</li> <li>・ 各クラスにおもちゃや絵本が置かれ、子どもたちは自由に取り出し、一人遊びやごっこ遊びを行っています。</li> <li>・ 年長児はトマトや枝豆、さつま芋などの栽培を行っており、少しの量でも給食に取り入れるなど、収穫の楽しみを体験しています。また、11月には、近くの保育園の子どもを招待し、焼き芋パーティーを開くなど、交流しています。</li> <li>・ 週1回程度、リズム運動を取り入れ、年齢に合わせた難易度で内容を組み立てています。また、子どもの成長により上手にリズム運動を表現できない場合には、筋力をつける方法として雑巾がけを保育士と一緒にすることなどを提案したりしています。</li> <li>・ 子ども同士のけんかなどが起こったときは、子どもに「なぜけんかになったのか」「どうすればよかったのか」を聞くことにより、素直な気持ちで仲直りができるよう配慮しています。また、困っている子どもがいたときは、他の子どもと一緒に考えることにより、思いやりが持てるよう援助しています。</li> <li>・ 1階ホールは、乳児クラスの保育室と隣り合わせになっており、幼児クラスが1階ホールで行うリズム運動に合わせて乳児が体を動かすなど、異年齢同士が交流を持てる配慮がされています。</li> <li>・ 家庭での呼び名を保護者から聞き、園でも家庭と同じように呼ぶよう配慮しています。職員は、子どもと話をするとき、子どもの目線になるようにしゃがんで話をしたり、朝の受け入れのときに泣いてしまう子どもに対しては、落ち着くまで保育士が側にいるなどして信頼関係を築いています。</li> <li>・ 園の周辺には自然に触れられる公園や遊歩道が多く、少し急な坂道のあるコースでも日常的に散歩に行き自然に触れる機会を積極的にもうけています。園では、はだし保育を行っており、天気の良いときは、どろんこ遊びをしています。</li> <li>・ 年長児は、なわとび・あやとり・竹馬などのチャレンジ表を作成しています。竹馬は、竹ぼっくり、下駄ぼっくり、竹馬と段階を追って取り入れ、できたときにはシールを貼るなど、運動能力を高められるよう工夫をしています。</li> </ul>

- 1 保育内容[生活]



- ・ 食事の量が多いときは、子どもが自ら減らしてほしいと保育士に伝えてあります。保育士は子どもが残さずきれいに食べられた喜びを味わえるよう配慮しています。
- ・ 園の食事は、外部に委託し、園内の調理室で調理をしています。月1回の給食会議で園と業者の栄養士が話し合い、季節の食材を取り入れた献立を決めています。食材は、できるだけ冷凍のものは使わないよう業者に要望し、新鮮な生の食材を使うよう配慮しています。
- ・ 給食会議では、喫食状況なども話し合い、味付けや献立、量について反映させています。栄養士は、子どもと一緒に食事をする機会はありませんが、各クラスをまわり子どもの食事の様子を見ています。
- ・ 食育だよりに「朝ご飯を食べるとこんなにいいことがある」「嫌いな野菜を食べやすくする工夫」などの情報を載せ、保護者へ提供しています。
- ・ 午睡は、一人ひとりのコット（簡易ベッド）を使用しています。眠れない子どもには、身体を休めるよう声をかけたり、ホールに出て絵本を読んだり休息できるように配慮しています。年長児は、1月より午睡をせず、入学の準備としています。
- ・ トイレトレーニングは、保護者と園の連携が大切と考え、子どもの発達に応じ、対応しています。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- ・ ひきつけ台帳を作成し、子どもの状況、ひきつけを起こしたときの対応、保護者への連絡方法など、保護者から聞き取り記録し、職員間で共有しています。
- ・ 年2回の健康診断と年1回の歯科健診の結果は、台帳に記録し保護者に伝え、必要なときには囑託医に対処法を相談するなど連携をしています。
- ・ 園内や近隣で感染症が発生した場合は、各クラスに発生状況を貼りだし、保護者へすみやかに情報提供を行っています。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



- ・ 「衛生管理マニュアル」があり、年度の終わりに見直しをしています。
- ・ 子どもが使用する歯ブラシやテーブルを拭く布巾などを消毒するバケツには、消毒液の量などが記入されたテープを貼ってあり、全職員が共通の認識を持って行っています。
- ・ 園庭の砂場の砂は、毎朝掘り起こし、一日の終わりにはシートでカバーをしています。また、年1回は抗菌砂に入れ替えるなど清潔・適切な状態が保たれています。

- 2 健康管理・衛生管理・  
安全管理 [安全管理]



- ・ 園の建物は、耐震基準に合致しており、設備などは年2回、園庭の遊具は月1回のメンテナンスを行っています。保育室やホールに設置されている棚などは作りつけにし、窓ガラスは強化ガラスを使用しています。
- ・ 発生した事故は、職員会議、リーダー会議で話し合わせ、設備などの改善が必要な場合はすみやかに対処し、再発防止に努めています。
- ・ 防犯カメラを設置し、神奈川県警察の生活安全課より講師を招き、不審者対応の訓練を行っています。また、交番や自治会と連携し、不審者の情報を共有しています。
- ・ 「家族アンケート」には、防犯面での不安の声が挙がっていたため、さらなる体制の見直しや保護者へ説明を十分に行うことが必要と思われる。

- 3 人権の尊重



- ・ 食事が遅い子どもや着替えに時間がかかる子どもに対して、強制することやせかすことなく、子どものペースに合わせ、子どもの自立を促す声かけを行っています。
- ・ 1階ホールには、テラス側に絵本コーナーが設置されており、保育士や友達の視線を気にせず過ごせる空間となっています。
- ・ 2階ホールは、コーナーの設置はしていません。必要に応じて保育室に衝立を使用したり、事務所のソファを子どもの落ち着ける場所としたり、子どものプライバシーが守れるよう状況に応じて工夫しています。
- ・ 職員の採用時には、誓約書を提出してもらっています。また、ボランティアや実習生には、個人情報についての説明を行っています。
- ・ 法人として、個人情報の取り扱いのガイドラインをつくり、事例をもとに、会議のときに話し合っています。
- ・ 支援が必要な家庭には、声かけを多くする、できるだけ話を聞く、コミュニケーションを密にするなど配慮をしています。また、児童相談所、区の担当者、園、学校と連携会議をもうけるなど迅速に対応できる体制が整っています。
- ・ 元々、性差で分ける捉え方をしていないため話し合う機会はありませんが、グループ分けや整列などは、その日に子どもが着ている洋服の色などで対応しています。気になることがあった場合は、保育士同士で話し合う体制が整っています。

#### - 4 保護者との交流・連携



- ・ 入園時の説明のときや行事、お便りなどで園の保育方針を説明しています。
- ・ 保護者に対し、保護者が保育方針を理解しているか独自のアンケートなどは行っていませんが、懇談会や保護者との日常の会話により把握しています。
- ・ 園だよりには、子どもがのびのび遊ぶ様子や子育てで大切なことなどが園長からのコメントとして記載されており、園の基本方針である「しなやかな心と身体を培い自立した子どもを育む」が保護者に伝わるよう努めています。
- ・ 事務所の隣に相談室をもうけています。相談内容により、保護者の同意を得たうえで、担任のほかに園長、副主任、経験豊富な保育士などが同席し対応しています。また、継続的なフォローが必要な場合は柔軟に対応し、会議などで話し合う体制が整っています。
- ・ 保護者懇談会は、5月、2月の年2回行い、保育の様子を伝えています。個人面談は保護者の希望に合わせるため、随時行うことが可能としています。
- ・ 幼児の朝の受け入れのときは、保育室入り口に置いてあるノートに「日付」「名前」「連絡事項」を保護者が記入し、直接会話ができないときでもやりとりができるよう、保育士との交換ノートとしています。
- ・ 乳児の朝の受け入れのときは、保育室のノートに「水遊び可」「沐浴可」「全て不可」を保護者が記入しています。
- ・ 担当保育士は、保護者のお迎えのときに、できるだけ直接話ができるよう心がけています。ただし「家族アンケート」には「話しかけづらい」「説明が物足りない」などの回答があるため、さらなる工夫が必要と思われます。
- ・ 毎月行うお誕生会には、父母、祖父母を招待し、希望者には給食を提供したり、当日の記念写真を園の玄関に掲示しています。お誕生月に参加できなかった家族は、他の月に招待するなど柔軟に対応し、100%の参加率となっています。懇談会に出席できなかった保護者には、プリントを渡し、口頭で伝えています。
- ・ 保護者より希望があったときには、保護者同士の交流のためにホールを貸し出すなど場所の提供を行っています。

## 評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎週木曜日に園庭開放を行っています。前園長がボランティアとして参加し、参加した保護者から直接ニーズを聞いています。</li> <li>・ 園庭開放の1回の参加者は、20名前後の子どもと保護者となっています。</li> <li>・ 園庭開放の日に、必要に応じて育児相談を行っています。今後は職員が講師となり、手遊びや伝承遊びなどの育児講座を開催する計画があります。</li> <li>・ 園庭開放の記録には、参加人数、反省などが記録され、ニーズに対応できる体制が整っています。</li> <li>・ 一時保育をほぼ毎日受けいれています。一時保育を利用する子どもはそれぞれの当該年齢のクラスに入り、クラスの子どもたちと一緒に過しています。</li> <li>・ 園庭開放で受けた子育ての相談や支援ニーズについて職員会議で話し合いをしています。</li> <li>・ 園庭開放や園の夏祭りの際に、オイルを使用しての乳児対象のベビーマッサージや職員によるマジックショーを行っています。</li> </ul>
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎週木曜日の園庭開放のときに、前園長、園長が育児相談を受け、必要なときには保育サービスを提供しています。</li> <li>・ 連携が必要な機関のリストが作成されています。</li> <li>・ 児童相談所、区の担当者、学校と定期的に連携会議を行っています。</li> <li>・ 公私合同園長会議や民間保育園会議、地域福祉保健推進会議、発達障害者支援ネットワークなどの会議に園長が参加し、職員会議で情報共有をしています。</li> </ul>

## 評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・七夕や親子ふれあいまつり、運動会、こま回し大会などに地域住民を招待し、親子ふれあい祭りには300名以上の園児と地域住民が参加しています。また、地域の行事に積極的に参加しています。</li> <li>・月1回、近隣の公園の清掃を行うなど、地域との友好的な関係を築くためのさまざまな取り組みを行い、開かれた保育園としています。</li> <li>・園の周辺には、公園や公共施設が多くあり、散歩などを通して地域の方と接する機会を多く持てるよう配慮しています。</li> <li>・近隣の保育園の園児に園庭を使用してもらったり、行事に招待したり招待されたりと、日常的に交流が図れるよう配慮しています。また、同法人の老人施設や近くの老人施設、交番に園児が作成した作品を届けるなどの交流も図っています。</li> </ul>
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の様子は、月1回更新するインターネットのブログで見ることができます。スイカ割りの様子や親子ふれあいまつり、野菜の栽培、年長児のお泊り保育の様子が写真付きで公開されています。</li> <li>・見学希望があった場合は、園長やフリー保育士が担当し、見学者の希望に合わせて行っています。園としては園児の様子が見られる午前の見学を勧めています。見学者への説明は、見学者用のパンフレットを使用し、園が特に大切にしていることを分かりやすく説明しています。入園が決まった後も、見学希望がある場合は柔軟に対応しています。</li> </ul>
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭開放の日は、前園長がボランティアとして参加しています。また、お話の先生、太鼓の先生、中高生の育児体験などの受け入れを行っています。</li> <li>・ボランティアの受け入れは、園だよりで保護者に伝えられ、理解が得られるよう配慮しています。また、終了時に、ボランティアより感想文を書いてもらい、全職員で共有し、提供するサービスに反映できる体制が整っています。</li> <li>・実習生の受け入れの担当は、主に園長が行い、実習生用のしおりを活用し、オリエンテーションを行っています。積極的に実習生を受け入れ、希望を聞き、実りある実習となるよう配慮しています。</li> <li>・職員と実習生は、午睡の時間や休憩時間などに意見交換を行っています。また、実習中に振り返りを行い、気付きや反省などをその後の実習に活かせるよう配慮しています。</li> </ul>

## 評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャリア開発申告シートを用い、個々の適正や育成方針などの目標を設定して、将来の見通しを持った人材育成に取り組んでいます。ただし、キャリア開発申告シートに基づく人材育成を今年度より始めたため、まだ達成度の評価には至っていません。今後の成果が期待されます。</li> <li>・ 非常勤を含む全職員の希望や経験に基づき個人別育成計画を作成し、園外の研修会、大会への参加が積極的に行われています。保育士は白峰学園保育センターの各種セミナー、中区合同中堅保育士人権研修、障害児保育研修など多くの研修に参加しています。</li> <li>・ 研修に参加した保育士は研修報告を提出し、全職員で回覧しています。また、リズム、救命救急法などの実践的な研修については、参加した職員が講師になって内部研修を行っています。</li> <li>・ 常勤、非常勤の組み合わせについては、個性、力量などを考慮して行っています。職務上は常勤、非常勤の差はなく、非常勤職員も職員会議や研修に出席しています。職員間のコミュニケーションはよく、連携して業務に当たっています。</li> </ul>
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月の職員会議においてヒヤリハット事例や良い事例を挙げて、お互いの保育について話し合い、スキルの向上を目指しています。</li> <li>・ 横浜市中部地域療育センターの巡回のときにディスカッションの機会をもうけて、保育についての評価、指導を受けています</li> </ul>
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人の人材育成計画に経験・能力や習熟度に応じた役割が期待水準として明文化され、全職員に配布されています。園長は評価のあとにフィードバック面談を行い、職員に到達度を伝えています。</li> <li>・ 園長は面接や日常的な会話の中で、職員の満足度や要望を聞いています。吸い上げられた職員の意見は、検討し改善につなげています。具体例としては2階ホールのエアコンの設置、児童数の実状に合わせた職員ローテーションの見直しなどがあります。</li> </ul>

## 評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人として「神奈川県匡済会コンプライアンスルール」を定め、職員が守るべき法・規範・倫理等を明文化しています。また、全職員が携帯するコンプライアンスカードにも掲載しています。</li> <li>・ 経営、運営状況が掲載された法人の事業年報を全職員に配布しています。また、法人の運営に関する情報を事務室の法人の掲示板に掲示しています。</li> <li>・ 法人のホームページに決算報告を公表しています。</li> <li>・ 調理で出た生ゴミは生ゴミ処理機で処理しています。</li> <li>・ ゴミの分別、廃材の再利用などゴミ減量化、リサイクルのための取り組みを行っています。また、こまめにスイッチを切るなど全職員で電気・ガス・水道の節約に努め、その結果を数値化しています。ただし、環境への考え方・取り組みを明文化はしていません。</li> </ul>
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人の基本理念、保育方針を掲載したポスターを作成し、保育室や事務室、ホールなどに掲示するとともに、コンプライアンスカードに法人の基本理念を掲載し全職員に配布しています。</li> <li>・ 法人の研修会において、法人の基本理念について周知しています。また、毎月の職員会議において、園長は法人の基本理念について話し、確認しています。</li> <li>・ 定員外の入所などの重要な意思決定に当たっては、職員会議やリーダー会議で職員に説明し話し合っています。また、保護者に対しては入園説明会や懇談会で説明しています。</li> <li>・ 法人の主任・副主任会議において、今後のあるべき姿の意識付けやコーチング研修を行い、主任クラスの計画的な育成を図っています。</li> </ul>
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園長は園長会、行政機関の会議、法人の施設長会議に出席し、事業運営に影響のある情報を収集しています。収集した情報は、職員会議やリーダー会議で報告・説明し、重点改善課題として設定しています。</li> <li>・ 法人は次代の組織運営に備え、中長期的な課題を抽出して、それに対する新たな仕組みを常に検討し、中長期的な計画を作成しています。</li> <li>・ 次代の施設運営に備え、法人の主任・副主任会議において計画的に後継者を育成しています。</li> </ul>

## 利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2010年7月12日～7月31日
- 2、実施方法 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。  
各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 66.7%（90枚配付、60枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス...6人、1歳児クラス...12人、2歳児クラス...13人、3歳児クラス...10人、  
4歳児クラス...10人、5歳児クラス...9人

同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

文中の「満足」「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値、  
「不満」は、「不満」・「どちらかといえば不満」の回答を合計した数値です。

### 特徴

#### 【問1】保育園の基本理念や基本方針について

基本方針について、「よく知っている」「まあ知っている」という人の合計は71.6%です。「よく知っている」「まあ知っている」と答えた人の中で、「賛同できる」と答えた人は95.6%でした。

“自然のままのスタイルでという部分がとても良いと思う”という声がありました。

#### 【問4】日常の保育内容「遊び」「生活」について

「遊び」の項目では、全体的に90%を超える満足があり、“どろんこ遊びなど、とても自然で健康的である”“リズムなど遊びながら体力をつけてくれる”などの声がありました。

「生活」の項目では、「給食の献立内容」「お子さんが給食を楽しんでいるか」については、100%に近い満足になっていますが、「保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応」については、13.3%の人が不満と感じています。“けがをしても説明がないときがある”“保育中のケガについては、口伝えが物足りない”との声がある半面“少々のキズでも報告いただいています”との声もありました。

#### 【問5】快適さや安全対策などについて

施設設備については、96.6%の満足が得られていますが、安全対策について不安と感じている保護者が40%近くになります。

#### 【問6】園と保護者との連携・交流について

「園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供」については、95%の満足となっています。「送り迎えのときのお子さんの様子に関する情報交換」については、25%の人が不満と感じており、“降園時の職員の方が少ないためゆっくり話をする時間をとってもらうのは、気が引ける”“朝伝えた子どもの体調を帰りに様子を聞くと知らない様子だった”などの声がありました。

#### 【問8】保育園を総合的に評価すると

総合満足度は、91.7%となっています。

### まとめ

◇ 満足度は、80～90%の項目が多くみられました。「遊び」に関しては全ての項目で90%を超えており、“はだしが基本で、外遊びが多い”“個々のやり方を尊重してくれている”など子ども主体の保育が提供されていると感じる結果となっています。個人面談については、随時受け付けていることを保護者に周知する、面談月刊をもうけるなど、さらなる工夫が必要と思われます。

## 利用者（園児）家族アンケート集計結果

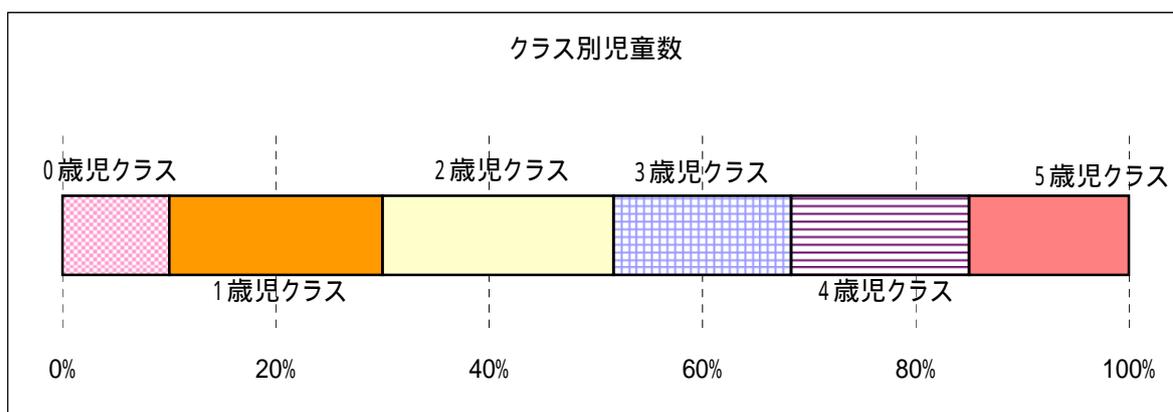
実施期間： 2010年 7月12日～7月31日

回収率： 66.7% （回収60枚 / 配布90枚）

### 【属性】

クラス別児童数							(人)
合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
60	6	12	13	10	10	9	0

同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスで記入



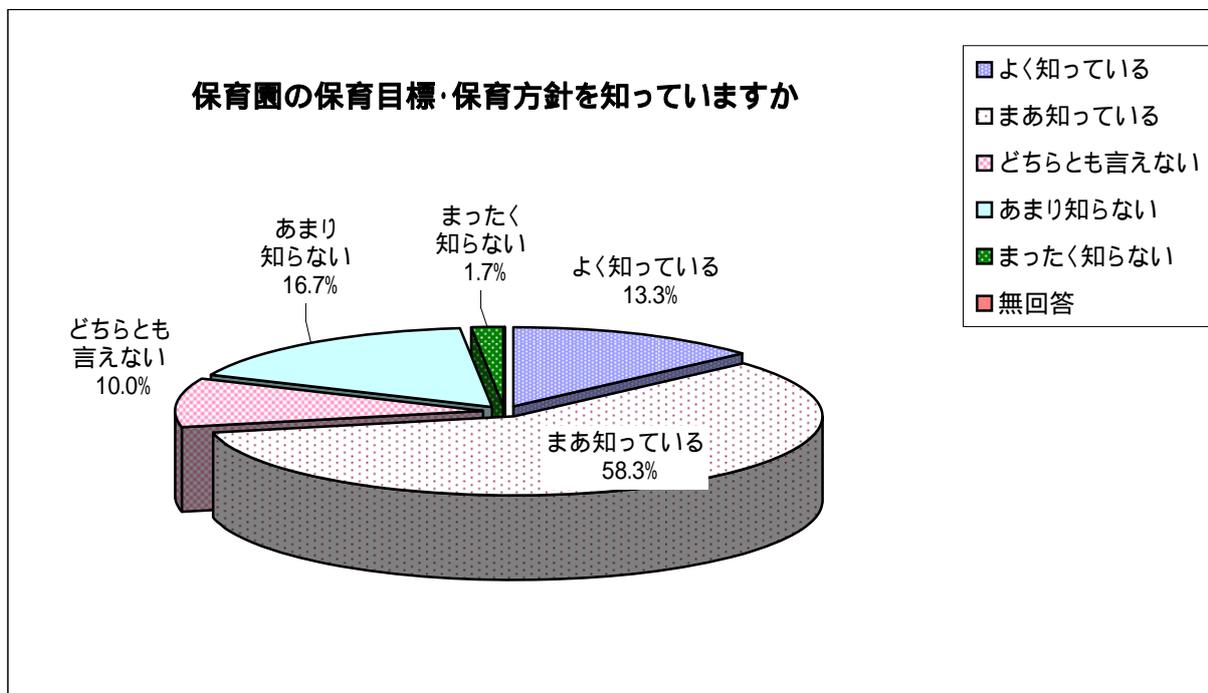
## 保育園の基本理念や基本方針について

### 問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	13.3	58.3	10.0	16.7	1.7	0.0	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

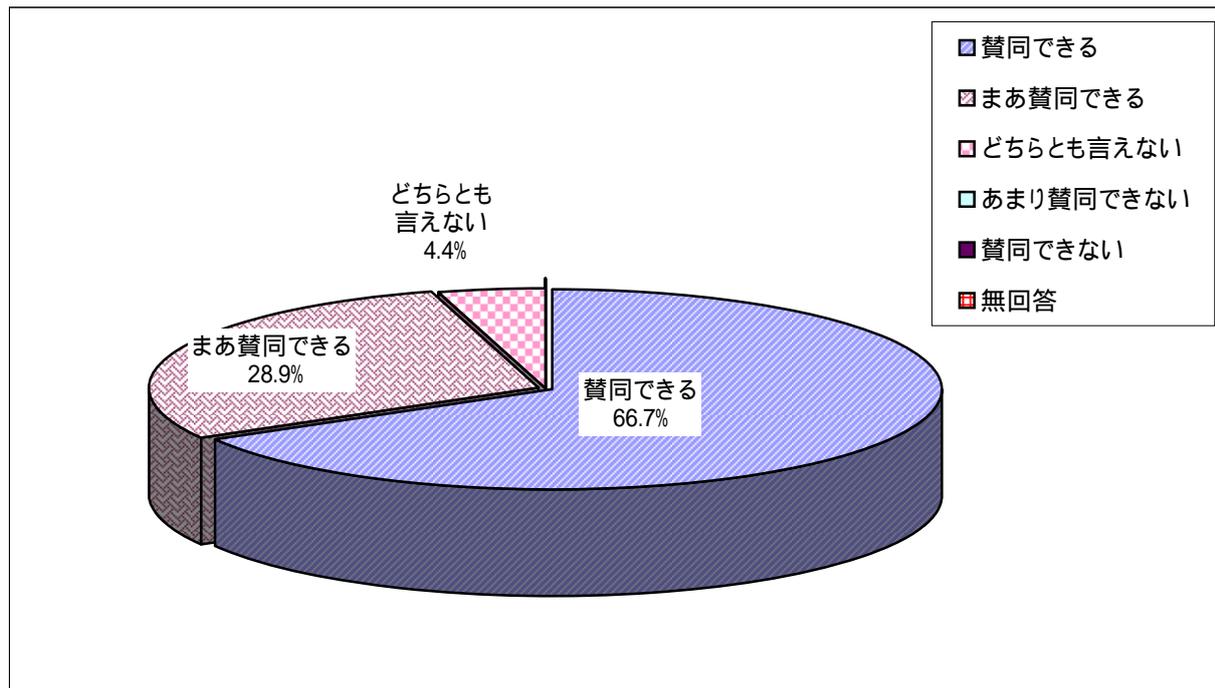


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

### 付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	66.7	28.9	4.4	0.0	0.0	0.0	100



# 保育園のサービス内容について

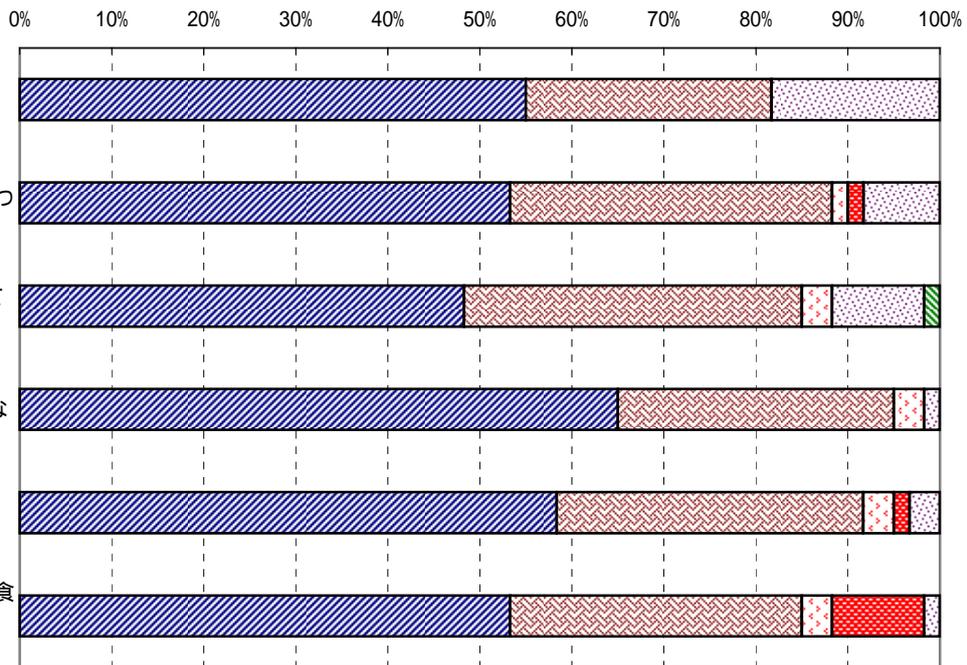
## 問2 入園時の状況について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	55.0	26.7	0.0	0.0	18.3	0.0	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	53.3	35.0	1.7	1.7	8.3	0.0	100
園の目標や方針についての説明には	48.3	36.7	3.3	0.0	10.0	1.7	100
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	65.0	30.0	3.3	0.0	1.7	0.0	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	58.3	33.3	3.3	1.7	3.3	0.0	100
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	53.3	31.7	3.3	10.0	1.7	0.0	100

### 入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



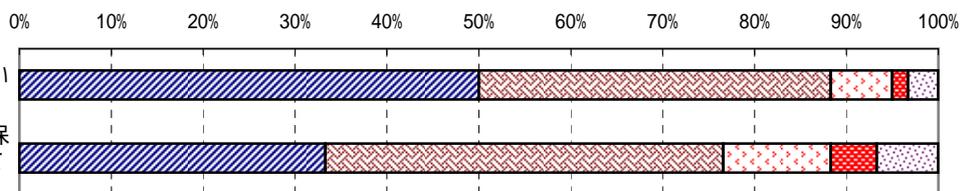
## 問3 年間の計画について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	50.0	38.3	6.7	1.7	3.3	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	33.3	43.3	11.7	5.0	6.7	0.0	100

### 年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



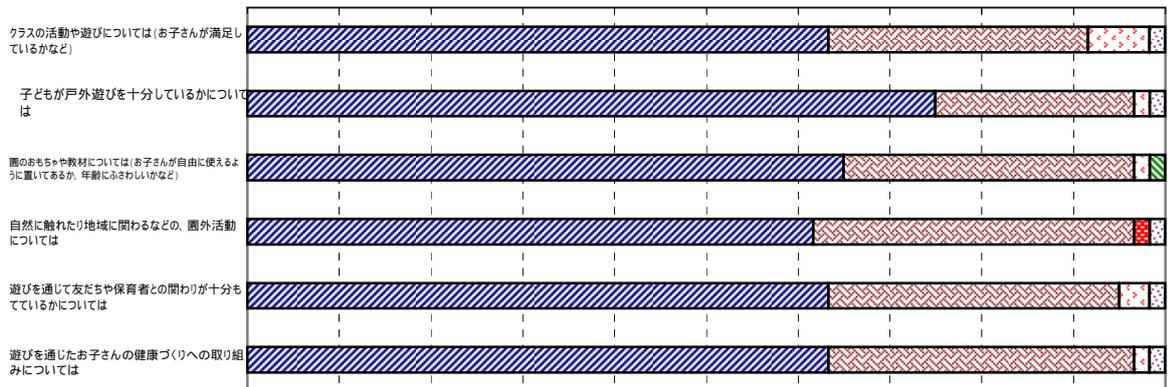
### 問4 日常の保育内容について

(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	63.3	28.3	6.7	0.0	1.7	0.0	100
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	75.0	21.7	1.7	0.0	1.7	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	65.0	31.7	1.7	0.0	0.0	1.7	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	61.7	35.0	0.0	1.7	1.7	0.0	100
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	63.3	31.7	3.3	0.0	1.7	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	63.3	33.3	1.7	0.0	1.7	0.0	100

#### 日常の保育内容「遊び」について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

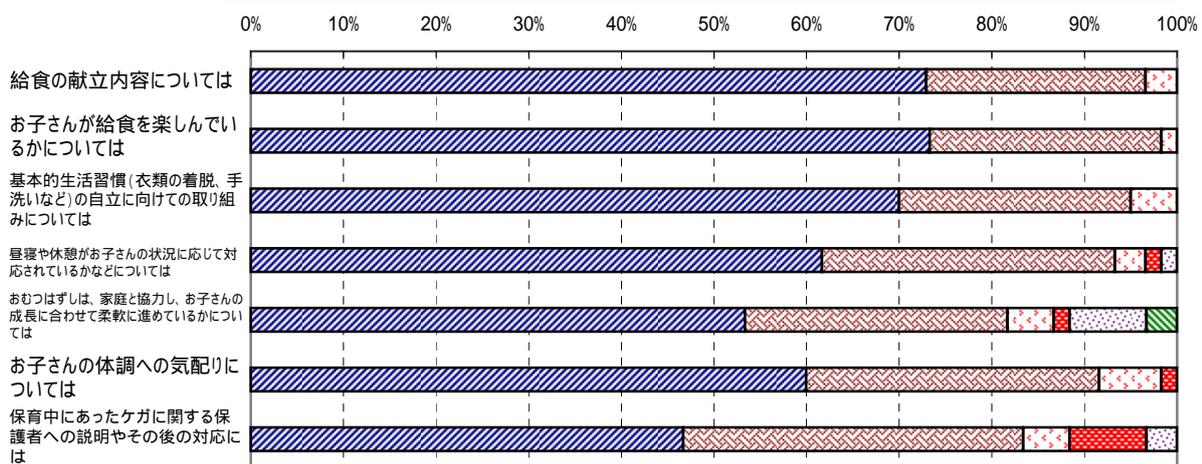


(%)

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	72.9	23.7	3.4	0.0	0.0	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	73.3	25.0	1.7	0.0	0.0	0.0	100
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	70.0	25.0	5.0	0.0	0.0	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	61.7	31.7	3.3	1.7	1.7	0.0	100
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	53.3	28.3	5.0	1.7	8.3	3.3	100
お子さんの体調への気配りについては	60.0	31.7	6.7	1.7	0.0	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	46.7	36.7	5.0	8.3	3.3	0.0	100

#### 日常の保育内容「生活」について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



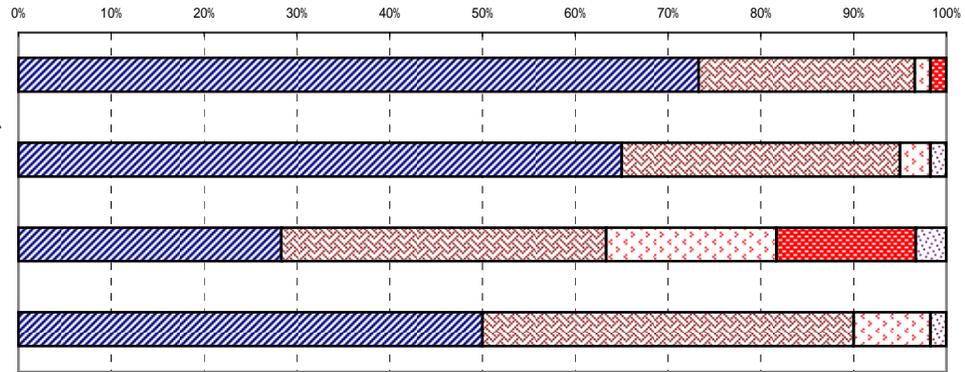
### 問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	73.3	23.3	1.7	1.7	0.0	0.0	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	65.0	30.0	3.3	0.0	1.7	0.0	100
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	28.3	35.0	18.3	15.0	3.3	0.0	100
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	50.0	40.0	8.3	0.0	1.7	0.0	100

#### 快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



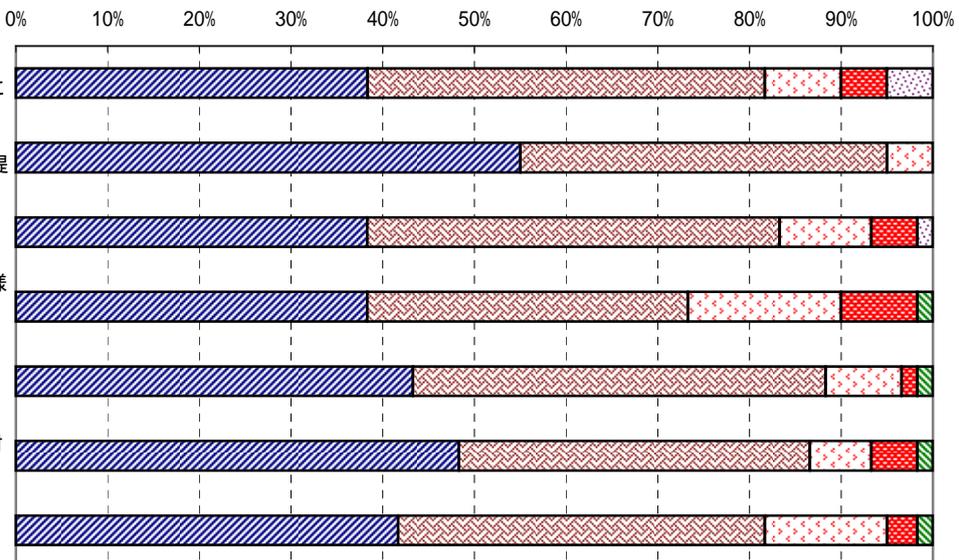
### 問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	38.3	43.3	8.3	5.0	5.0	0.0	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	55.0	40.0	5.0	0.0	0.0	0.0	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	38.3	45.0	10.0	5.0	1.7	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	38.3	35.0	16.7	8.3	0.0	1.7	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	43.3	45.0	8.3	1.7	0.0	1.7	100
保護者からの相談事への対応には	48.3	38.3	6.7	5.0	0.0	1.7	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	41.7	40.0	13.3	3.3	0.0	1.7	100

#### 園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



### 問7 職員の対応について

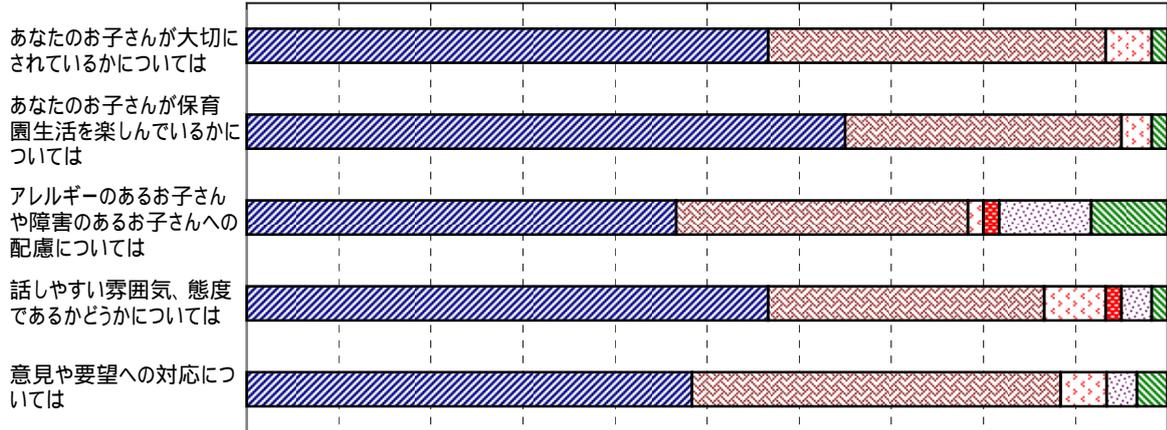
(%)

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	56.7	36.7	5.0	0.0	0.0	1.7	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては	65.0	30.0	3.3	0.0	0.0	1.7	100
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	46.7	31.7	1.7	1.7	10.0	8.3	100
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	56.7	30.0	6.7	1.7	3.3	1.7	100
意見や要望への対応については	48.3	40.0	5.0	0.0	3.3	3.3	100

#### 職員の対応について

■満足 ■どちらかといえ  
ば満足 ■どちらかといえ  
ば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

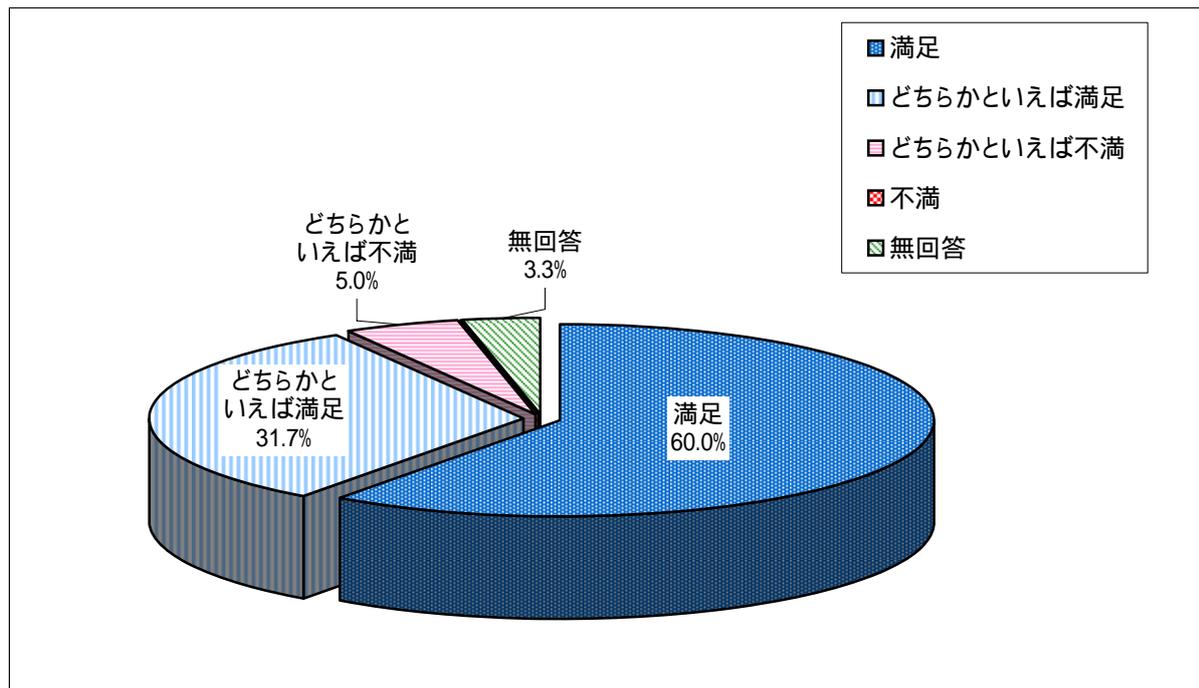
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



### 問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	60.0	31.7	5.0	0.0	3.3	100



## 利用者（園児）本人調査 分析

観察調査 9月10日（金）9：00～17：30 9月16日（木）9：00～17：30

観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

### 0歳児クラス（めだか組）

午前のおやつが終わると、首のうしろまで紫外線をカバーできる帽子をかぶり、ベビーカーとおんぶで散歩にいきます。近所の方に会うと挨拶し、猫やオウムを見つけると子どもが見えるようにベビーカーを止める、子どもをおぶっている保育士は子どもが見えるように身体を傾けるなどゆったりしたペースで散歩をしています。

到着すると遊び始める前に、持参したお茶で子ども、保育士は水分補給をします。水分摂取を終えると順番に芝生の中に入り、子どもたちはそれぞれ歩いたり、ハイハイをしたりして遊び始めます。遊び始めてから、同じ年齢の子どもを連れた親子が声をかけてきました。一時保育を利用している親子でしたので、子どもたちと一緒に遊び始めました。

### 1歳児クラス（かに組）

保育室には、ままごとのコーナー、電車のコーナー、絵本のコーナーがテーブルや棚、マット、ベンチを使って設定されています。子どもたちは自由におもちゃを取り出します。それぞれ好きなコーナーに分かれて思い思いに遊び始めました。おもちゃや場所の取り合いのときは、「かして」「やめて」「ごめん」など言葉で言うように、保育士が声をかけています。手が出そうなときは、さりげなく間に入っています。

おもちゃのケーキを使って、お誕生日ごっこをしている子どもたちの数が増えたときには、保育士が中に入ってみんなのお誕生日になるようにしていました。

### 2歳児クラス（ぺんぎん組）

保育室で、3人の子どもが手をつないで輪になり、みんなでくっついたり離れたりと、輪を大きくしたり小さくしたりして遊びます。子どもの人数が増えていき、輪がだんだん大きくなっていきます。仲間に入りにくそうな子どもがいるときは、保育士が気づき、一緒に「入れて」と言えるようにしています。

トイレ誘導のときに、座っても出なかった子どもやトイレに行かなかった子どもの名前を、保育士同士で確認しあい、ときどき声をかけています。

お医者さんセットでごっこ遊びをしました。いろいろなおもちゃの病院グッズ、注射、水薬、貼り薬熱をさますシート、テープ、紙コップで作った聴診器、お人形、手作りのおんぶひも、おふとんなどを部屋の中央に広げます。保育士も一緒になって、医者役、患者役をやりながら遊びます。医者役の子どもは木の椅子に座り、「次の方どうぞ」と言い、誰も来ないときは「さんどうぞ」と、名前を呼んでいます。患者役の子が座ると「どこが痛いんですか」「おなか痛いです」のやりとりをして、テープを貼るまねなどを行っています。

### ◆ 3歳児クラス（らっこ組）

食事が終わったあとの自由遊びの時間中、ひとりで本を読んだり、ふたりで一冊の本を読んだり、ひとりでレゴを作ったり、5、6人でレゴで遊んだり、子どもたちはそれぞれの形で遊びこんでいます。グループで遊ぶ子どもたちは、遊びのルールを楽しげに話し合いながら遊んでいます。保育士は、食事が終わった保育室の床を、消毒液に浸してある雑巾でいねいに床拭きしていました。子どもたちは、おもちゃを片付け廊下に出ます。保育士が午睡の準備をしている間に、別の保育士と歌を歌い、お話を

聞いたりしています。

#### 4 歳児クラス（いるか組）

合同のリズム運動のあとに、近隣の公園で運動会のかけっこの練習をします。2 人ずつ 1 周を走ります。待っている他の子どもたちは、走っている子どもの応援をします。勝ち負けにこだわる子どもは、どちらが速かったかでもめています。保育士は、双方の話を聞き子ども同士で話し合うよう上手に導いています。勝ち負けについては「みんな頑張っているのだから、みんな偉いんだよ」と説明をします。泣いてしまう子どもがいたときは、言葉で伝えるよう話しています。

運動会の練習が終わった子どもと保育士は保育室に戻り、食事の準備をします。配膳が終わるまで、八百屋のお店の手遊び、絵本「グリーンマントのピーマンマン」の読み聞かせをし、嫌いなものも食べようと子どもたちに話して聞かせます。

#### 5 歳児クラス（くじら組）

合同のリズム運動が終わり、保育室に戻った子どもたちは、それぞれ着替えをし、水分摂取を行います。保育士は、食事の準備のためテーブルを並べ始めます。子どもたちは、並んだテーブルに箸、スプーンを置き、廊下で遊び始めます。別の保育士はエプロンと三角巾をつけ、配膳の準備を始めます。テーブルを出した保育士は、消毒した台フキンでテーブルを拭くと、廊下に出て子どもたちに声をかけます。

子どもたちは、2 階のホールの中央に集まり、保育士は囁くような声で「魔女の図鑑」を読み始め、子どもたちは集中して聞いています。

給食の準備ができたころ、保育士は手洗いを促し、保育室に戻ります。子どもたちは順番に、各自で食事を受け取りに行き、量が多い子どもは、保育士のところに行き、食べられる量に減らしてもらっています。全員が配膳を済ませたところで、保育士はホワイトボードに今日の食材を貼り、栄養などの話を始めました。全員で「いただきます」をして、食べ始めました。

#### 3、4、5 歳児合同のリズム運動

3、4、5 歳児合同でリズム運動を行います。順番に、年齢に合った表現を取り入れながら、電子ピアノに合わせて身体を動かしています。

3 歳児は両足跳び、4 歳児は片足跳び、5 歳児は横向きのスキップをします。曲が変わると、3 歳児はツバメに見立てて走りジャンプをします。4 歳児は途中で回れ右をし、走る向きを変えます。5 歳児はトンビになって何度も大きくジャンプをします。次の曲では 3 歳児は自動車に見立てて曲が止まるとしゃがみ、4 歳児はトンボになって片足で立ち、5 歳児はメダカとなり曲が変わると同時に反対に周ってリズムとなります。5 歳児のリズムの最後に 3、4 歳児が加わり異年齢グループのリズムで終了になります。

3 歳児には 2 人の保育士が声をかけ励まし、全員がやってみよう促しています。4 歳児には先頭で一人の保育士がお手本を示し、そのマネをし、最後尾の別の保育士がフォローをしています。5 歳児には保育士が先頭で手本を見せ、子どもたちが続いていきます。保育士の支援の仕方もそれぞれの年齢に合わせているようです。

#### まとめ

子どもたちが散歩やリズム運動などで、自然に触れ、思い切り体を動かしのびのびと生活しています。保育士は、子どもの様子や習慣を把握し、子ども同士が楽しく生活できるよう声をかけ見守っています。また、子どもの目線で保育を行っており、子どもの発想や意欲を大切に、子ども主体の保育を提供しています。地域住民との交流を大切に考え、子どもが地域に触れる機会を多くする保育を行っています。園の環境を有効に活用し、子どもの運動能力を最大限に活かす工夫が取り入れられています。

## 事業者コメント

全職員が自己評価を行い、それを持ち寄って話し、ひとつひとつを確認しながら丁寧に十分話し合いました。暑い中、土曜日に出勤しての話し合いは大変でしたが、職員一人ひとりの思いや考えを交わしあう中で、今まで曖昧だったことや、改善しなければいけないことが明らかになり、さまざまな気付きもいただきました。評価員の方々からは、この保育園の良さにも気付かせていただき、今まで築き上げてきたことが承認されたようで嬉しく思うと同時にこれからも大切に引き継いでいきたいと思います。保護者アンケートでは、さまざまな意見をいただきましたので、共通理解のために話し合いや、保育参観、情報提供などに工夫をする必要性を感じました。家庭と保育園が同じ方向を向いて、仲良く足並みをそろえて歩んでいきたいと思っています。大変だったけれど、第三者評価を受審して良かったと思っています。

(保育士)

開所 5 年目を迎え、今の保育サービスが客観的な視点でどうなのか、という思いで受審しました。保育士は自主的に「第三者評価受審プロジェクトチーム」を立ち上げ、プロジェクトメンバーを中心に進めてまいりました。自己評価を基にした話し合いに多くの時間を費やしましたが、粘り強く自分たちの保育を見つめ直し、課題を見出していきました。保護者の皆さんにも、アンケートにご協力いただき感謝です。調査員の方々には実地調査で保育園に 2 回来ていただき、保育の実際や環境設定など詳細に見ていただき、保育士のヒアリングや子どもからの聞き取りをしていただきました。受審してさまざまな気付きや、保護者の思いを知ることができましたので、変えなくてはいけないことと、変えてはいけないこととの見きわめをしっかりと行ってまいります。そして今後の保育サービス向上につなげていくために、さらに話し合いを重ねてまいりたいと思います。

(園長)





～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/jigyousyajoho/hyoukaall.cgi>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.k-daisansyahyouka.org/>

---

特定非営利活動法人



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま 評価事業部

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 26 番地 洋服会館 2 階

TEL:045-222-6501

FAX:045-222-6502

<http://www.shimin-sector.jp>

---